

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

| | | | |
|------|---|--------|--------------------------|
| 施設名称 | 川崎市黒川青少年野外活動センター | 評価対象年度 | 平成24年度 |
| 事業者名 | ・事業者名 特定非営利活動法人 国際自然大学校 ・代表者名 理事長 佐藤 初雄 ・所在地 東京都狛江市岩戸北4-17-11 | 評価者 | 青少年育成課長 |
| 指定期間 | 平成21年4月1日 ～ 平成26年3月31日 | 所管課 | 市民・こども局こども本部子育て施策部青少年育成課 |

2. 事業実績

| | | |
|-----------|--|------------|
| 利用実績 | ①年間延べ利用者数 | 28,882人 |
| | ②年間延べ利用団体数 | 781団体 |
| 収支実績 | 1 収入 | 単位:円 |
| | 指定管理料 | 24,000,000 |
| | その他収入 | 6,169,653 |
| | 合 計 | 30,169,653 |
| | 2 支出 | |
| | 人件費・賃金 | 17,833,397 |
| | 光熱水費 | 1,685,917 |
| | 委託費 | 2,693,034 |
| | 消耗品費 | 4,439,282 |
| | その他経費 | 2,173,736 |
| | 合 計 | 28,825,366 |
| | 3 差引 | 1,344,287 |
| サービス向上の取組 | 利用団体等からの指導依頼を受けてプログラムを提供するなど、専門性が十分に発揮され、野外活動に関する技術や情報が集約されるセンターとして機能の充実が図られていた。 | |

3. 評価

| 分類 | 項目 | 着眼点 | 配点 | 評価段階 | 評価点 |
|---------|--|------------------------|----|------|-----|
| 利用者満足度 | 事業推進 | 施設の目的に合った事業が実施されているか | 5 | 5 | 5 |
| | | 計画どおり事業が実施されているか | | | |
| | 事業成果 | 事業成果として利用者数に増加傾向がみられるか | 5 | 5 | 5 |
| | (評価の理由) 当初計画にない事業として、「もうすぐ夏休み 親子で楽しもう外遊び」及び、「アウトドアの知識を災害時に応用しよう」の講演を実施し、利用者のニーズに対応した。 ニュースレターや主催事業のチラシを市の公共施設などに発送し配布を依頼するとともに、ブログを毎日更新する事で最新の情報が利用者へ届くよう努めた結果、利用者数は、事業計画数値の27,000人を大きく上回り、第1期指定管理時と比較しても36.6%の増となった。 【参考】第1期指定管理時(平成18年度～平成20年度)年度平均利用者数:21,144人 | | | | |
| 収支計画・実績 | 適切な金銭管理・会計手続 | 適切な会計処理がされているか | 5 | 4 | 3 |
| | 効率的・効果的な支出 | 計画に基づく適切な収入が確保されているか | 10 | 5 | 10 |
| | | 計画に基づく適切な支出がなされているか | | | |
| | | 支出に見合う効果が得られているか | | | |
| | 効率的な執行等、経費削減の具体的な取組がなされているか | | | | |
| | (評価の理由) 会計処理に関する内規に従い、適切に処理している。 主催事業の充実に伴い8割以上の事業で定員を超える応募があるなど、利用者が増加したことにより参加費等による収入を確保するとともに、効率的な運用をすることで経費削減を図り、指定管理料比約5.6%の黒字を計上した。 | | | | |

| | | | | | |
|--|-----------------------|---|----|---|----|
| サービス向上及び業務改善 | 施設・事業の広報 | 施設や事業が積極的に広報されているか | 5 | 5 | 5 |
| | | 広報の方法に工夫が見られるか | | | |
| | 利用者への対応 | 利用者に対する接遇が適切にされているか | 10 | 3 | 6 |
| | 学校及び行政機関との連携 | 事業実施に当たり学校や行政等と連携が図られているか | 10 | 5 | 10 |
| | 利用者ニーズ | 利用者ニーズの把握がされているか | 10 | 4 | 8 |
| 把握したニーズが事業運営へ反映されているか | | | | | |
| (評価の理由) ニュースレターや主催事業のチラシを市の公共施設などに発送し配布を依頼するとともに、ブログを毎日更新する事で最新の情報が利用者に届くよう努めている。 概ね良好な接遇が図られ、利用者からの苦情・要望に対しても適切に対応していた。 学校等とただ連携を図るだけに止まらず、教職員に対して事前に野外活動に関する指導を行うことで、当日は教職員が生徒に指導を出来るようにし、生徒との距離を縮める一役を担った。 利用後にアンケートに記入してもらうだけでなく、日頃から利用者とは直接コミュニケーションをとる事で生の声も収集し、その要望や訴えに迅速に対応している。 | | | | | |
| 組織管理体制 | 適正な人員配置 | 利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか | 10 | 3 | 6 |
| | | 事業の目的を考慮した適正な職員が採用されているか | | | |
| | 職員の研修体制 | 職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか | 5 | 3 | 3 |
| | 個人情報等の取扱 | 個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか | 5 | 4 | 4 |
| (評価の理由) 計画どおりの人員配置を行い、職員全員がAED等の応急手当の講習を受けベーシックファーストエイドの資格を取得するなど、予定どおりの研修を実施した。 また、個人情報の取扱いについて、職員だけではなくボランティアスタッフに対しても、適切な運用についての指導を行った。 | | | | | |
| 適正な業務実施 | 施設・設備の保守管理 | 安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか | 5 | 3 | 3 |
| | 利用者の安全確保 | 利用者の安全確保のため、工夫がされているか | 5 | 3 | 3 |
| | | 事故等が発生した場合に適切な対応が行われているか | | | |
| | 防犯対策 | 施設の防犯のための工夫がされているか | 5 | 3 | 3 |
| | | 緊急時のマニュアル等が整備されているか | | | |
| 災害への対応 | 避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか | 5 | 3 | 3 | |
| | 災害発生時のマニュアル等が整備されているか | | | | |
| (評価の理由) 修繕の必要な箇所を把握し、適正な修繕に努めた。 事故等が発生した場合のマニュアルが整備され、適切な対応がなされていた。 防犯に係る緊急時のマニュアルが整備されており、計画にある防犯のための取組が実施されていた。 災害発生時のマニュアルが整備されており、法定訓練等が実施されていた。 | | | | | |

注) 配点×(評価段階/5)=評価点

4. 総合評価

| | | | |
|-------|----|-------|---|
| 評価点合計 | 77 | 評価ランク | C |
|-------|----|-------|---|

注) 評価点:100点満点。評価ランク:5段階評価
 A(90点以上):特に優れている、B(80点以上90点未満):優れている、
 C(60点以上80点未満):適正である、D(40点以上60点未満):改善が必要である、
 E(40点未満):問題があり適切な措置を講じる必要がある

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

ホームページやタウン誌等の媒体の活用に加え、新たな広報媒体を開拓するなど、広報の充実に努め、また、既存の事業に工夫を加え、乳幼児親子向け事業等の新規展開を図っている。
 今年度は、昨年度に記録した過去最高利用者数及び利用団体数を更新した。野外活動に係る専門性を有する職員が、さらにその資質の向上に努める研修を随時実施している。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

最終年度においても引き続き、専門性を十分に発揮した事業展開、各種広報媒体の更なる充実及び職員の資質向上、大規模災害にも備えた防災体制の強化に努めること。
 また、今年度記録した利用者数及び利用団体数を維持できるよう努めること。